



NEWSLETTER FOR JAPANESE DIVISION OF
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION FOR
DENTAL RESEARCH

国際歯科学研究学会日本部会 部 会 報

1980 - I

2 月

1. 現在までの事務進行状況

第4回理事会 1979年9月21日 日本歯科大学

i) 次期会長(1981, 1982)の件

先に理事会で御推薦した森 政和教授(大歯大)について 会員による選挙(9月15日/切)を行ったが、開票の結果、投票数195票の内192票で次期会長に当選された。

ii) Dr. George C. Paffenbarger を日本部会名誉会員とし、ブランク(名誉会員証)を贈ることに決定した。日本部会設立当初における同先生の功績にむくいるためのものである。尚、ブランクは6月5日、第58回 IADR 大阪大会開会式の席上で贈られる。

iii) 大阪大会の準備状況

iv) ICOB(国際口腔生物学会議)の準備状況

v) 第27回日本部会総会(東京)の準備状況

第5回理事会 1979年12月6日 ホテル ニューオータニ

i) 会計報告

ii) 大阪大会の準備状況

iii) ICOBの準備状況

iv) 次年度の日本部会総会は1980年12月5日(金)と6日(土)に東京において開催を決定、会場は野口記念館。

2. 第27回日本部会総会

12月7日(金)と8日(土)に 野口英世記念館において盛大に開催された。

演 題 数 54(口頭発表46, ポスター発表8)

出 席 者 242名

7日の午後4時50分より本部長のDr. H. Loeにより特別講演“The Longevity of the Human Dentition”が行われ、その後多くの人々より活発な討論がよせられた。

全会期を通じて極めて討論が活発で密度の高い日程を過ごすことが出来たのは準備委員会、並びに各座長の努力の賜であり、本学会の特色が大いに発揮されたと考えられる。又、本学会はじめての試みとしてポスターセッションが行われ、大きな成果をあげたことは記録すべきであろう。

7日夜の懇親会にはDr. H. Loeをまじえた多数の方々の出席があり、極めてなごやかな交流の時間を過ごすことが出来た。

7日1時より日本部会総会が開催された。それに続いて同じ席上で会員多数、ならびに本部長Dr. H. Loeの列席のもとに、大西正男理事(前日本部会会長)に対し、日本部会創設当初よりの長年にわたる多大の御功績にむくいるため、名誉会員証(ブランク)が田熊庄三郎会長より贈呈された。その後、大西正男理事より謝辞があり、先生の長年の御苦勞のほどがしのばれ会員一同感銘を深くした次第である。

1979年度 IADR 日本部会事務局会計報告

(1978年11月1日～1979年10月31日)

収 入		支 出	
繰越金	2,209,403	通信費	228,199
年会費	1,114,000	印刷費	629,600
賛助会費	700,000	コピー代	2,205
日本歯科医学会補助金	500,000	会合費	22,670
寄付	30,000	交通費	212,320
1978年日本部会総会補助金戻り	100,000	文具	92,520
利息	60,286	銀行手数料	600
計	4,713,689	1980年大阪大会準備金	2,000,000
		1979年日本部会総会補助金	200,000
残金	1,260,575 円	謝礼	65,000
		計	3,453,114

尚、1980年大阪大会準備金の会計報告は同学会終了後に行われる。

3. 第58回 IADR 大阪大会の準備状況

河村名誉会長のもと実行委員会の開催回数はすでに11回に及んでいる。昨年12月8日には野口記念会館において組織委員会が開催された。

本年1月23日には本部より来阪したDr. Gray(次期会長)と、Dr. Green(本部 Executive Director)を混えて合同の会議が持たれた。

1) 種々の事情から学会の日程は次の様に変更された。

6月5日～8日 → 6月5日～7日

2) 出題演題数は次の通り

口頭発表 340 題
 ポスター発表 101 題
 シンポジウム 8

3) 日本人で、その上、同一人で多数出題されている場合にその一部が reject された場合がある。

プログラム編成上、止むを得ぬ事情によるので御了承いただきたい。

4) 改正された日程予定

	午前 9:00 - 12:00	午後 14:00 - 17:00	夜
6月5日 (木)	開会式 9:30 音楽演奏 10:00 開式, 宮殿下入場 10:05 会長, 名誉会長, 日本部会会長, 挨拶 10:30 記念講演 11:00 授賞者表彰	A. 学術発表(口頭) 6部門 B. シンポジウム 1. 結合組織代謝の免疫的調節 2. フッ素の役割	親睦会 (ロイヤル ホテル) 18:00 ~
6月6日 (金)	A. 学術発表(口頭) 5部門 B. シンポジウム 1. 顔の審美性と行動 2. 新しく開発された前歯充填 物に対する歯髄反応 C. 学術発表(ポスター形式)	A. 学術発表(口頭) 7部門 B. シンポジウム 1. 頭蓋顔面発育の正常と異常 C. 学術発表(ポスター形式)	晩餐会 (太閤園) 19:00 ~
6月7日 (土)	A. 学術発表(口頭) 6部門 B. シンポジウム 1. 歯髄の感覚機構 2. 口腔における免疫機構	A. 学術発表(口頭) 7部門 B. シンポジウム 1. 歯の形成と破壊におけるフ ッ素	

5) 学会登録料の変更

12月7日開催の組織委員会での了承の上、実行委員会は為替レートの変更に対応して学会登録料を下記のように変更した。

正会員	3月15日以前登録	13,000円
	3月15日以後登録	15,000円
非会員		20,000円

6) 登録の方法

日本人の登録は、大阪の組織委員会事務局宛に行う。

申込み手続にはすでに発送されたサーキュラーに添付の用紙又は、日本歯科医学会々報第6巻1号(1980年)の38頁と39頁にあるものを使用する。

第58回国際歯科学会総会	銀行送金宛先;
組織委員会事務局	住友銀行中之島支店
大阪大学歯学部口腔生理学教室内	普通預金口座番号: 982612
大阪市北区中之島4-3-48	第58回国際歯科学会総会実行委員会
事務局直通: 06(443)1934	財務委員長 常光 旭

4. 第8回国際口腔生物学会議(ICOB)(東京)の準備状況

大西正男実行委員長のもと現地実行委員会は数々の会議をかさねて来た。又、昨年10月25日にはパリでFDI開催の折、IADR本部役員との打合せ会(大西委員長、森本委員、須賀委員出席)が開

かれた。更に、本年1月22日には、Dr. Gray (本部次期会長)、Dr. Green (本部 Executive Director)、Dr. Skougaard (ICOB 委員長) と現地実行委員会との合同会議がホテル ニューオータニで開催され、諸準備についての最終的な検討が行われた。

決定したプログラムの主な内容は以下の通りである。

「口腔疾患の予防、— その意義と応用 —」

6月1日 (日)

- 8:30 - 10:00 受 付
9:30 - 10:30 開 会 式
10:30 - 17:05 I 種々な予防方法 (8題)
a. 確立している予防法
b. 開発中の予防法

6月2日 (月)

- 9:00 - 12:15 II “食”による予防 (4題)
14:00 - 17:00 III 歯科保健計画の立案と実施 (4題)

6月3日 (火)

- 9:00 - 15:30 IV 地域歯科保健計画の評価 (4題)
15:30 - 16:30 V 総括 “歯科学の未来像”

Dr. G. S. Beagrie

ところ ホテルニューオータニ (芙蓉の間)

学会事務局

(財)口腔保健協会内

〒170 東京都豊島区駒込1-38-6

☎ (03) 947-8891

参加申込には歯界展望 2月号、3月号にとじ込んである用紙を利用されたい。不足の場合には学会事務局 (口腔保健協会) に請求のこと。

5. 本部の新しい Executive Director 選任の件

昨年12月20日付で、会長Dr. H. Loeより新しい本部の Executive Director として Dr. John A. Gray が選任されたむね通達があった。尚、同氏の任期は7月1日よりであり、それまでは従来通り Dr. D. B. Green がその任にある。

国際歯科研究学会 (IADR) 日本部会事務局

〒102 東京都千代田区富士見1-9-20

日本歯科大学歯学部・病理学教室

☎ 03-261-8311, 内線 291・292